

# ら い 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 88 1月号

2013年1月1日 発行  
たつの市立図書館

龍野図書館 TEL(0791)62-0469

新宮図書館 TEL(0791)75-3332

揖保川図書館 TEL(0791)72-7666

御津図書館 TEL(079)322-1007

URL <http://tatsulib.city.tatsuno.hyogo.jp/>



携帯専用サイトへは、  
左のQRコードから  
(URL:<http://tatsulib.city.tatsuno.hyogo.jp/m/>)

## 読書と私 No.80

### 「選べない10冊」

龍野町 土井 愛子

幼少期から本を読むことが好きな方ではあったが、多方面での知識をより多く得たいと思うようになってからは読書の量やジャンルが格段に増えた。きっかけは、TV報道や新聞雑誌、インターネットで毎日情報が溢れている昨今ではあるが、その報道のされ方について疑問を抱くようになったからである。報道されている事柄や、世の中で常識と考えられている事象を鵜呑みにせず、多くの人の考えを知ることが重要だと思う。

今までは、好きな作家や趣味の料理、スポーツ、医学、ペット問題や絵画に関する本を好んで読んでいた。今では国際関係、経済、哲学、自然・社会科学、産業や言語などもそれに加わるようになった。

私の新しい本との出会いの方法は、毎月この「来ぶらり」で紹介されている新刊や、HP内にある「新着図書」を順番に見る。気になった本をすべて手帳にリストアップし、インターネットで市内の図書館にあるかどうかを検索し、予約をする。予約の本を受け取りに図書館に行った際には、図書館をぐるりと巡り興味深い本を探しているうちに、借りたい本で腕の中がいっぱいになってしまう。貸出限度の10冊になるよう選び抜き、オーバーした本はまたリストに記入しておく。本を借りた日は、どれから読もうかといつも嬉しい悩みを抱きつつ、充実した気持ちで家路に着く。

暖かい日差しが差し込む部屋でアロマを焚きながら、誰にも邪魔されることなくゆっくりと本を読んでいるときが、本当に贅沢な時間だと感じる。

読書のための時間がなかなか取れない時は、朝いつもより早めに起きてみる、出先での待ち時間に、スマートフォンを触っている手を本に持ち替えてみる・・・など限られた時間の中でも“隙間時間”をうまく探すことが出来る様になった。

読書を続けていると、物事の本質を見極める力が付くのはもちろんだが、心にゆとりができゆったりとした空間の中で過ごしている自分を感じる。

まだ出会ったことのない本との出会いを楽しみに、今年も図書館通いがスタートする・・・。



※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『読む力は生きる力』 脇 明子 著 岩波書店



子どもが本を読むことの大切さは誰もが口にしますが、なぜそんなに読書が大切なのでしょうか。本は子どもに何をもちたらすのでしょうか。

本書は、長年、大学生を教え、「子どもの本の会」を主宰してきた著者が、この

根源的な問いに真正面から取り組み、辿り着いた考えが述べられています。

成長過程に物語を読むことの意味として、著者は、頭の中にイメージを作り出す「想像力」と、自分の思考や行動を客観的に見る「メタ認知能力」というキーワードを挙げています。著者はこれが生きていく力の基礎となるといいます。読書はこれらの能力を育てる助けとなり、さらに、物語から得た体験が心の成長を支えると、その重要性を語ります。

そして「なんでもいいから、たくさん読みましょう」という読書指導や、本選びを子ども任せにすることが、本嫌いの原因になると言及しており、大人が良かれと思った言動が、かえって本離れを助長していることに気付かされます。

では、どうすればいいか。子どもが「本はおもしろい」と心から実感するためには、どのような本を、どのように読めばいいか、親や周りの大人のどんな手助けが必要なのかについても示されます。

子どもと本に真摯に向き合う著者の言葉は、確かな説得力をもって“本がなぜ人に必要か”を伝えると共に、困難な時代を生きる子どもたちに、まっすぐに幸せに育ててほしいと願う思いにあふれています。

読書のより良い道しるべとなる好著。

(揖保川図書館 岡村)

**トピックス** 新年も図書館へ！（新春のイベント）

**新年を寿ぐちりめん細工  
—井口勝夫作品展—《実演》**

新宮図書館で好評開催中の「ちりめん細工展」において、井口勝夫氏本人による実演が行われます。

日時：1月13日（日）  
14時～14時30分  
場所：新宮図書館



※作品展は1月30日（水）まで開催しています。

**親子で楽しもう！科学遊び**

親子でいろいろな遊びを通して、科学の楽しさを味わいましょう。

日時：1月27日（日）14時～15時30分  
場所：龍野図書館研修室(2階)  
講師：上田 倫範 氏 (前姫路科学館館長)  
対象：小学校1～3年生とその保護者  
定員：20組  
申込：龍野図書館まで



**揖保川図書館・御津図書館読書講演会  
「播磨から飛躍 黒田官兵衛」**

来年の NHK 大河ドラマの主人公として注目されている、播磨に関わりの深い戦国武将、黒田官兵衛について、第一線の研究者が語ります。

日時：2月9日（土）  
13時30分～15時  
場所：御津文化センター 研修室2  
対象：高校生以上  
講師：中元 孝迪 氏

(兵庫県立大学特任教授  
・播磨学研究所長)

定員：50名(先着順)  
申込：1月17日から受付、電話可  
揖保川図書館または御津図書館



【関連著作】  
『稀代の軍師 黒田官兵衛』  
『姫路城 永遠の天守閣』  
神戸新聞総合出版センター

## おすすめする子どもの本・82

### 『あひるのピンのぼうけん』 マージョリー・フラック 作 瑞雲舎

こどものあひるのピンは、揚子江に浮かぶ舟に家族や親戚たちと暮らしていました。毎日舟からかけられた橋を渡って岸边に降り、カタツムリや小さい魚を探して過ごします。夕方になるとご主人の呼び声を合図に舟にもどるのですが、最後の1羽はいつもむちでぶたれてしまうので、ピンは最後にならないようによく気をつけていました。

ところがある日、ピンは魚とりに夢中で最後の1羽になってしまったことに気づきます。そしておしりをぶたれるのを恐れ、草むらに隠れて一夜をすごします。翌朝ひとりぼっち

になってしまったピンは、家族の乗った舟を探しますが見つかりません。ひとりで魚を獲りにでかけたピンは、浮いていたおせんべいにつられ1そうの舟に近づき、その舟に住む男の子に捕まえられてしまいました。男の子のお父さんやお母さんはピンをあひる料理にして食べようとします。

のびやかな筆の線で描かれた絵は、ひとりぼっちになったピンの心細さや、夢中で舟に戻る姿を生き生きと表現しています。難を逃れたピンが無事に家族たちのいる舟に戻ることができた結末に、子どもたちは満足するでしょう。

読んであげるなら5歳くらいから。

(新宮図書館 勝谷)

---

### 『テディ・ロビンソンのたんじょう日』

ジョン・G・ロビンソン 作 岩波書店

テディ・ロビンソンは、大きくてだきごちのいい、茶色いくまのぬいぐるみです。

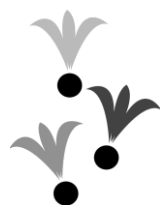
歌が大好きで、何かあると自作自演でうたいます。テディ・ロビンソンは、デボラという小さい女の子のもので、いつもいっしょにいました。

ある日、テディ・ロビンソンは、はじめて誕生日を祝ってもらうことになりました。みんなが自分のためにパーティーの用意をしてくれるのを見て、とてもごきげんです。パーティーの当日には、特別な時だけに着るふじ色のよそいきの服を着て、画用紙の王冠をかぶり、デボラの友だちや他の人形たちからお祝いをしてもらいます。かわいい女の子の人形ジャクリーヌが隣にすわり、プレゼントをもらって、最高の気分のテディ・ロビンソンは、はりきりすぎて調子にのり、誰にもとめられなくなってしまいました。調子はずれな歌をうたったり、おかしななぞなぞをだした

り、あげくはテーブルの上に頭でたつというお行儀の悪いことをしてしまい、デボラから大目玉をくらいます。(「テディ・ロビンソンのたんじょう日」より)

他にもテディ・ロビンソンとデボラをめぐってのおはなしが、全部で6編おさめられています。おおまじめでいろいろなことをするテディ・ロビンソンとお姉さんかお母さんのようなデボラのやりとりに、思わず笑顔があふれます。小学校低学年から楽しめます。

(龍野図書館 山本)



# 各館の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

館名	行事	対象(上段) ・ 時間(下段)	1月の予定
龍野図書館 TEL(0791) 62-0469	●えほんのじかん	0～3歳児、保護者 ----- 第2・第3土曜日(11時～11時20分)	12日・19日 『おふろだ、おふろだ!』他
	●子どもの本を読む会	一般 ----- 第2木曜日(10時～11時30分)	10日 『愛の一家』アグネス・ザッパー 著
	読書会	一般 ----- 第2金曜日(10時～11時30分)	11日 総会
新宮図書館 TEL(0791) 75-3332	●えほんのじかん	2～4歳児、保護者 ----- 第3・第4月曜日(11時～11時20分)	21日・28日 『おしょうがつさん』他
	■おはなしのじかん	5歳児～ ----- 土曜日(11時～11時30分)	5日・12日・19日・26日 「 <sup>たびひつぽ</sup> 旅人馬」他
揖保川図書館 TEL(0791) 72-7666	●えほんのじかん	3～5歳児、保護者 ----- 第2・第3土曜日(10時30分～10時50分)	12日・19日 『スモールさんはおとうさん』他
	■おはなしのじかん	小学生以上 ----- 第2・第3土曜日(11時～11時30分)	12日・19日 「屋根がチーズでできた家」他
	読書会	一般 ----- 第2水曜日(10時～12時)	9日 『老人力』赤瀬川原平 著
御津図書館 TEL(079) 322-1007	●えほんのじかん	0歳児～、保護者 ----- 第2・第3日曜日(11時～11時20分)	13日・20日 『ちいさなねこ』他
	読書会	一般 ----- 第2火曜日(13時30分～15時30分)	8日 『感傷旅行』田辺聖子 著